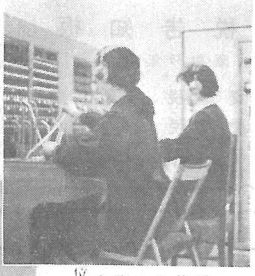
# 有線放送開通にそなえて



加入者各位の待望久しかった有線放送電話もいよいよ近く開通の運びとなりましたので取扱い方を簡単に申述べて利用者各位の御協力をお願いしたいと思います。

## 一、電話のかけ方

ア、原則として、通話の時間のみに御利用ください（放送が行われてる時間は緊急通話だけに限ります）

イ、電話をかけるときは送受話器をはずし、耳にあてるだけで交換手が出ますので御自分の番号を伝えてから対手の番号をハッキリとお告げください（相手の名前でなく必ず番号を）

ウ、交換手が対手方を呼び出し「どうぞ」と言いますので御自分の名前を伝えた上でお話しください（かんたんに無駄話はやめる）

エ、通話がすみましたら送受話器を必ず元の位置へ正しくかけてください

オ、送受話器をはずして耳にあてたとき他人の話し声がきこえましたなら同じ回線で話中ですからすむまでお待ちください。

## 二、電話がかかってきたら

ア、スピーカーから御自分の番号が呼ばれた時は、他から電話がかかってきたのですから、すぐ受話器を取りあげて応答してください。

## 三、緊急通話

ア、天災、事変、火災、盗難急病人等緊急事態発生の場合は、一斉放送中でも、時間外でも「緊急」と告げ、あわてず（何時、何処で、何が）ハッキリと内容を告げてください。

## 四、その他の注意

ア、この電話設備は一回線を十数戸で共同使用するので他人の通話をきくことが出来ますがこれは〈法により厳禁されていますから違反しないよう固くお守りください〉

イ、電話器とラジオを接続したり、その他工作を加え又は施設をこわしたり、通信の妨害を行ったりしますと罰せられるので御注意ください。

ウ、電話線が木の枝にふれていますと、故障を生じやすいからお気づきのときは枝を切り払ってくださるようお願いします。

エ、故障のときは、自分で修理しないで、放送所へ御連絡願います。

◎詳しいことは、更めてお知らせいたします。

# 蛔虫を駆除して健康な体を作りませう！

この度町で実施した蛔虫検査の結果町民の大多数が蛔虫をお腹の中にもっていることがわかりました。

蛔虫には種類は沢山あります。特に人体に害の多い鈎虫が検査人員の四五％が保有して居ります。鈎虫は駆虫薬も種々ありますが、その人によって相当の差が有りますので一応医師の診断を受けて医師の指示により駆除した方がよいと思いますので役場からの通知書と国保の被保険者証を持参して診断を受けて下さい。

蛔虫や鈎虫はいろんな病気のもととなりこれがため人命に及ぼす例も少なくありません。

蛔虫や鈎虫は特に農村地帯に多いということです。それは農村地帯の方々が新鮮な野菜と称してその儘生で食べる事又素足で田畑の耕作をする事等で感染の機会が多いためです。

折角蛔虫を駆除したなれば感染しないようつとめて下さい。

# 農事相談

## 「稲作増収指針」

## ビニール畑苗代の育苗管理

### 1稲作の土台は健苗にある

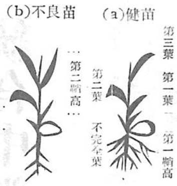
昔から「苗代半作」「苗半作」という諺がある。それ位稲作には苗の良否が収量に響いてくる。健苗であれば必ず増収する事は間違のない事実である。

然し一口に健苗といっても唯外観が優れているといっただけのことでなく、内容的に素質が良くなければならない。特に早期栽培の場合は、苗全体が見映えのするものより、根部の発育の良いもの程優秀な成績をあげる。従ってどの様な姿と内容をもつものが本当の健苗であるかを検討して見たい。

(イ) 病虫害がないこと。苗に稲熱、立枯、馬鹿苗等の病状が出ているものは、本田で回復しても、無病のものに比較して収量が落ちる。

(ロ) 苗揃がよく葉が大きいこと。苗の揃が悪いと、出穂稔実も不揃となり管理上不便である。葉は広くてイキイキしている様でなければならない。

(ハ) 地上部全体がガッチリしていること。茎は太く、葉の出方は正常で第一図(a)の様に鞘高は短い。



（註）第一鞘高とは根際から本葉第一葉の着生点との間、第二鞘高とは本葉第一葉と本葉第二葉の間をいう　温度管理を誤り高温の場合鞘間は長くなり易い

### 2育苗中の管理

畑苗を理想的な苗にするには、どうしたらよいであろうか、先づ発芽が一斉に揃うまでは床内温度を四〇度近くあげても種籾には支障がないが、本葉第一葉が出たら日中はビニールを少しずつまくってできるだけ温度と湿度の調節をする。床内温度は最高二八度以内、夜間は最底一〇度を下らぬように注意する。この頃の管理の上手下手で立枯やムレ苗が出てくる。日中余程寒くない限り晴天の日はビニールをまくって外気にならす事が大切である。畑は外気温と床内温の差が少ないから換気によって急激な変化による障害は少ない。日中高温になってから急激な換気操作は葉を傷め易いから注意が肝要です。

(イ) 高温障害はなぜ起るか床内温度が四五度以上あがれば湿度も九〇%以上になるので数時間で細胞の機能を失い、葉先が黒くなるか苗全体が黄変し、即ちムレ苗で管理上の失敗である。

(ロ) 低温障害

高温障害より多いのが、低温障害である。本葉三葉の頃より起り易い。葉は線香の様に巻き、根を抜くと枝根が少ない。原因は床内温度を下げたり、翌日高温に遭せると、根と葉の釣合がとれず起る。これは土の酸土と湿度の関係もありPH五度、床内湿度六〇%位の時には障害がない。ムレ苗の徴候があればその対策としては強い直射日光を避ける手段をとることが望ましい。

（光農業改良普及所）

# 農家の本当の姿を

## ＝農家台帳の作成＝

名医は病人を最も良く診察して始めて適格な病名を決め投薬をする。

年々苦しくなって行く農業経済立直しの医者は、新しい村作りのかけ声丈では病気は快復しない。まづ先に生きた実態を診断し知る事が必要である。

農家の本当の姿をとらえて振農の対策を打出す基本が明四月から光町農業委員会が主体となってやる農家台帳の作成の仕事である。

この台帳は全国六〇〇万農家について昨年から二ケ年計画で作成するもので本年度で全部終了するわけで当光町は本年作成する事になって居る

### 調査の方法時期は

さて農家台帳はどうしてつくられるか、まず農業委員会でいろいろ協議して、役場の関係者や農協普及員など打合せてその順序を決めます。

一、対象農家、一反歩以上耕作している農家

二、調査時、八月一日現在で行う

三、調査方式、皆さんの部落から選ばれた調査員によってききとりによって行います。

できあがった台帳は国が農家のためにやる政策の基本資料に用え亦町の計画樹立指導の重要な資料として活用されます。何れ詳細はまた広報紙上で御知らせいたしたいと思いますが農家の真の振興の基本方途のために用えるものなので皆さんの御協力を切望いたします。

# 光町伝染病院完成近し

## 総工費五八二万五千円

三四、一二、二三着工

三五、三、二七竣工の予定

この伝染病院は、光町、横芝町、野栄町の三町で建設するものである。今までの隔離病舎は交通の極めて不便な山林内にあって電灯を始め井戸その他の諸設備も悪く、建物も古いもので毎年補修をして急場をしのいできたのであるが、もはや補修も困難であり、患者の収容も不可能な状態である。また現に患者及び家族もこの施設に入ることをきらっている現状であった。

一方横芝町、野栄町には隔離病舎の施設がないので、光町が主体となって横芝町、野栄町に呼びかけ三町で東陽病院の敷地内に建設するものである。

この病院が完成した場合には、どのような伝染病が発生しても近くには東陽病院の医師住宅や看護婦があり、設備の内容も極めてよいので患者に充分なサービスができる。

また今まで疑似症（伝染病の疑いのある病気）についてはその届出が確実でなかったが、設備の完備や医師の充実により患者の早期発見ができるので予防態勢も万全を期することができるものと確信する。

設備の概要

病棟建設工事費　四一三万円　一二〇坪

し尿及び汚水処理施設費　二八万円

医療器具設備費　三八万円

消毒装置整備費　八〇万円

（患者の着衣、ふとん等を消毒する機械）

事務費　二三五千円

合計　五八二万五千円

### 病棟一二〇坪の内訳

| 種別 | 室数 | 坪数 延坪 |
|---|---|---|
| 事務室 | 1 | 3.00 |
| 応接室 | 1 | 3.00 |
| 病室 | 6 | 31.50 |
| 看護婦室 | 1 | 4.00 |
| リネン室、予備室 | 1 | 2.25 |
| 汚物処理室 | 1 | 4.00 |
| 配膳室 | 2 | 8.00 |
| 洗濯室 | 1 | 4.00 |
| 水洗便所 | 3 | 8.00 |
| 消毒室 | 1 | 6.00 |
| 廊下（9尺）その他 | 2 | 46.25 |
| 計 | 20 | 120.00 |

# し尿処理組合誕生

今度光町ではし尿を衛生的に処理するために旭市、八日市場市、飯岡町、海上町、多古町、干潟町及び野栄町で東総二市六町し尿処理組合を一部事務組合の組織で設立致しました。

し尿を処理する消化槽は総工費四、三三一万円で旭市の新川べりに施設されます。この工事は昭和三十五年度事業として既に整地工事に着手しておりますが本年度内に竣功する予定であります。このし尿消化槽が完成致しますと毎日一五〇石（二七、二二kl）のし尿を処理する能力があります。光町ではこの施設に委託出来るし尿の量は一日八、三石（一、五kl）であります。

し尿消化槽で処理されたし尿は清水と何等変りない水となり新川に放流されるのであります。

# 旧跡めぐり

## （尾垂巡礼堂）

尾垂の巡礼堂は、古くは補陀落山円明院に属し後に寺の合併により現在は新隆寺の境内にある。

大師参りの札所として近郷に名が響いて居り、殊に旧七月十七日夜は観音町と称する、夜町があり、其の夜は各種の出店が境内立錐の余地もない程参詣の客で賑ふ。

巡礼堂の開基は余り詳かでないが伝えるところによると！

遠い昔、元和の頃廻国修行の老いた旅僧が尾垂に来り行暮れて野宿し翌朝出かけようとして笈を脊負はんとしたが、如何にしても笈が少しも動かず仕方ないので其処に念誦して居たところ、里人が怪しみ集り問うた処、右の次第であったので邑人達が相談をし小屋を作り笈の持仏を安置し食物を持寄りして旅僧はそのまま其処に足を止めた。

旅僧の笈の持仏は一寸八分の十一面観世音であったと云ふが非常に霊験あらたかで信仰する者多く、毎年七月十八日には参詣の善男女市をなす程で其の日は店も出る賑ひだったといふ。

其の故に地名を桟敷原と称し今も字名は現存する。

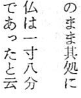
ある時近くに野火が起り里人の心尽しの堂宇も類焼し急のために御仏も持出す暇なく身一つでからくも逃れる程であった。

老僧は御仏の焼けた事を歎いて居ると焼野から南に当る程遠い高い松の枝に毎夜光り物があるので怪しみ日中そこに行って見ると笈仏の十一面観世音で尊像自から煙の外に飛び去って難を脱れたのであった。

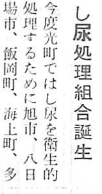
里人は奇異に怯え其の地に新たに堂を作り安置したのが現在の処であるといふ。

後に行基菩薩が諸国巡礼の砌り当寺に足を止め、三十三体の観世音菩薩を彫刻なされ安置し奉るよってそれより巡礼堂と称した。

其れより幾星霜を経て堂も大破し尊像も散失し漸く三体を残すのみであったが享保十一年に信者の寄進により百体の観世音の尊像を寄進安置され今に至ってゐる。



# 巷の声



（お答え）

向後とらさん（或は仮名）？の町民さんに申上げます。あなたが消防について非常な関心を持っておいでになる事はまことに感謝にたえません、其の点厚く御礼を申上げます。

だがあなたの御指摘された事は、事実無根の事であります。消防団の旅行といふ事柄に何でその様な全然ない事をねつ造して云ふのですか、いはばあなたのやり方は、実に卑怯です。あなたの将来のために一言附加して置きます。

向後とら？の偽名で投書をする前に消防団を思う一町民であればなぜその前に消防団に事の真疑を聞きに来ないのですか。

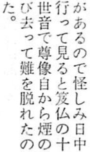
偽名を使ってしかも直接の関係者にはきただしもせず誰に聞いたか、又は自分で作ったか知らないが町議その他に投書するやり方は実に卑怯なやり方だと思います。あなたの様な者許りでは明るい町作りは出来ないでせう。

吾々は、やって居る事について天地に俯仰してはぢない信念を持って居ります。

建設的意見を開陳していただくなら、いつでも喜んで御聞きいたします堂々と御出で下さる事を御待ちいたします

（光町消防団）

# 広報室の窓から



二月中に発刊予定でありました「広報十三号」がいろいろな都合でおくばり出来なかった事を編集子一同新春特集号で張りきった手前、御愛読いただいてゐる皆様に深く御詫びいたします。

予定より大部おくれて御迷惑をかけた有線放送も四月一日迄には開通の運びとなりました。これからの広報は二ケ月に一回位として耳からの御しらせは有線でと云ふ事になり広報は町民の皆さん自身の広報としての使命を受持つことになると思はれますので卒直な御意見と御批判をどしどしいただけたら幸甚です。